



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社モリタホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6455 URL <http://www.morita119.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾形 和美  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 金岡 真一 (TEL) 06-6208-1915  
 管理サービス本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	27,516	△6.9	950	△48.6	1,242	△39.4	664	△49.1
29年3月期第2四半期	29,571	35.0	1,850	24.5	2,052	11.9	1,304	41.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,509百万円( -%) 29年3月期第2四半期 △212百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	14.69	—
29年3月期第2四半期	28.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	103,247	57,457	54.8
29年3月期	106,037	56,722	52.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 56,624百万円 29年3月期 55,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	12.00	—	17.00	29.00
30年3月期	—	12.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	83,000	△2.4	8,700	△9.8	9,000	△11.1	5,400	△10.6	119.37	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	46,918,542株	29年3月期	46,918,542株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,680,602株	29年3月期	1,679,767株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	45,238,346株	29年3月期2Q	45,240,335株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策などを背景に、企業収益や雇用情勢は回復基調で推移しましたが、米国新政権の動向及び北朝鮮問題など地政学的リスク増大の影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは3ヵ年の中期経営計画「Morita Advance Plan 1000」の2年目として、企業価値の向上に向けた諸施策に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は27,516百万円（前年同四半期比2,054百万円減、6.9%減）、営業利益は950百万円（前年同四半期比900百万円減、48.6%減）、経常利益は1,242百万円（前年同四半期比809百万円減、39.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は664百万円（前年同四半期比640百万円減、49.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①消防車輛

消防車輛事業は、前期に国内需要が増加した反動により、売上高は13,671百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

#### ②防災

防災事業は、パッケージ型自動消火設備「スプリネックス」の受注は確保したものの、工事の完成が第3四半期以降に偏重する見通しであるため、売上高は7,344百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。

#### ③産業機械

産業機械事業は、製品受注が減少した中で、部品販売及びメンテナンスに注力しましたが、売上高は1,640百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

#### ④環境車輛

環境車輛事業は、新型プレス式塵芥収集車「プレスマスター」の販売が増加したものの、部品販売が減少したことにより、売上高は4,860百万円（前年同四半期比1.6%減）となりました。

当社グループの売上高及び利益は、消防車輛事業の官公庁向け売上高の占める割合が高いこと等から、第4四半期に偏る傾向にあります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (財政状態の分析)

当第2四半期連結会計期間の総資産は103,247百万円（前連結会計年度末比2,789百万円の減少）となりました。

流動資産は、48,604百万円となり3,047百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少10,191百万円の方で、たな卸資産の増加7,559百万円によるものです。

固定資産は、54,643百万円となり257百万円増加しました。うち有形固定資産は、34,871百万円となり147百万円減少し、無形固定資産は、5,288百万円となり112百万円減少し、投資その他の資産は、14,483百万円となり517百万円増加しました。

流動負債は、26,361百万円となり3,294百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少1,015百万円、未払法人税等の減少2,022百万円によるものです。

固定負債は、19,429百万円となり230百万円減少しました。

純資産は、57,457百万円となり735百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上664百万円、その他有価証券評価差額金の増加347百万円、為替換算調整勘定の増加365百万円の方で、剰余金の配当769百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の52.7%から54.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,336百万円減少の6,550百万円となりました。なお、当四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、534百万円の収入（前年同四半期は1,530百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,222百万円の計上、売上債権の減少額11,342百万円の方で、たな卸資産の増加額7,406百万円、仕入債務の減少額1,648百万円、法人税等の支払額2,623百万円によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,116百万円の支出（前年同四半期は3,485百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出893百万円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、778百万円の支出（前年同四半期は2,767百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出421百万円、配当金の支払額768百万円の方で、短期借入金の純増加額418百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね当初予定通りに推移しており、通期の業績につきましても、現時点では、平成29年4月28日に公表いたしました業績予想と変更しておりません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,946	6,670
受取手形及び売掛金	26,288	16,096
電子記録債権	407	495
商品及び製品	3,949	4,311
仕掛品	5,187	11,097
原材料及び貯蔵品	4,841	6,129
その他	3,088	3,869
貸倒引当金	△57	△65
流動資産合計	51,651	48,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,190	11,957
機械装置及び運搬具(純額)	2,939	3,488
土地	18,954	18,954
建設仮勘定	536	62
その他(純額)	398	408
有形固定資産合計	35,019	34,871
無形固定資産		
のれん	3,871	3,799
その他	1,529	1,488
無形固定資産合計	5,401	5,288
投資その他の資産		
投資有価証券	10,612	11,090
退職給付に係る資産	1,010	1,006
その他	2,896	2,941
貸倒引当金	△554	△555
投資その他の資産合計	13,965	14,483
固定資産合計	54,385	54,643
資産合計	106,037	103,247

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,622	8,606
電子記録債務	7,554	7,029
短期借入金	185	631
1年内返済予定の長期借入金	2,342	2,342
未払法人税等	2,504	482
賞与引当金	1,152	1,186
役員賞与引当金	155	69
製品保証引当金	842	796
その他	5,296	5,218
流動負債合計	29,655	26,361
固定負債		
長期借入金	11,207	10,786
退職給付に係る負債	3,897	3,827
役員退職慰労引当金	115	131
その他	4,439	4,683
固定負債合計	19,659	19,429
負債合計	49,315	45,790
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,746	4,746
資本剰余金	4,331	4,331
利益剰余金	48,220	48,116
自己株式	△1,496	△1,498
株主資本合計	55,801	55,695
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,747	4,094
繰延ヘッジ損益	△0	16
土地再評価差額金	△2,604	△2,604
為替換算調整勘定	△445	△79
退職給付に係る調整累計額	△581	△497
その他の包括利益累計額合計	116	929
非支配株主持分	804	833
純資産合計	56,722	57,457
負債純資産合計	106,037	103,247

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	29,571	27,516
売上原価	21,091	20,188
売上総利益	8,479	7,328
販売費及び一般管理費	6,629	6,377
営業利益	1,850	950
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	70	78
受取賃貸料	41	41
持分法による投資利益	38	119
その他	146	121
営業外収益合計	299	365
営業外費用		
支払利息	40	38
賃貸費用	5	5
その他	52	27
営業外費用合計	98	72
経常利益	2,052	1,242
特別利益		
固定資産売却益	1	3
特別利益合計	1	3
特別損失		
固定資産除売却損	1	23
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	2	23
税金等調整前四半期純利益	2,051	1,222
法人税等	726	530
四半期純利益	1,325	691
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,304	664

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,325	691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△201	351
繰延ヘッジ損益	6	16
為替換算調整勘定	△1,266	378
退職給付に係る調整額	83	83
持分法適用会社に対する持分相当額	△159	△12
その他の包括利益合計	△1,537	817
四半期包括利益	△212	1,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△230	1,477
非支配株主に係る四半期包括利益	18	32

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,051	1,222
減価償却費	888	1,008
のれん償却額	219	213
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	8
受取利息及び受取配当金	△72	△82
支払利息	40	38
持分法による投資損益(△は益)	△38	△119
有形固定資産除売却損益(△は益)	△0	20
売上債権の増減額(△は増加)	7,007	11,342
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,802	△7,406
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,611	△1,648
その他	△861	△1,486
小計	△179	3,111
利息及び配当金の受取額	74	85
利息の支払額	△39	△38
法人税等の支払額	△1,385	△2,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,530	534
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,511	△893
有形固定資産の売却による収入	11	3
無形固定資産の取得による支出	△187	△98
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得に対する前期末払分の支払による支出	△631	—
貸付けによる支出	△60	△121
貸付金の回収による収入	10	21
その他	△116	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,485	△1,116
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,062	418
長期借入れによる収入	9,714	—
長期借入金の返済による支出	△421	△421
配当金の支払額	△452	△768
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△7	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,767	△778
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61	23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,308	△1,336
現金及び現金同等物の期首残高	7,771	7,886
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,462	6,550

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	
売上高					
外部顧客への売上高	15,275	7,521	1,834	4,939	29,571
セグメント間の内部売上高又は振替高	101	138	0	153	394
計	15,377	7,660	1,835	5,092	29,966
セグメント利益又は損失(△)	1,009	297	△9	569	1,866

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,866
セグメント間取引消去	2
棚卸資産の調整額	△18
四半期連結損益計算書の営業利益	1,850

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	
売上高					
外部顧客への売上高	13,671	7,344	1,640	4,860	27,516
セグメント間の内部売上高又は振替高	87	164	1	78	331
計	13,758	7,508	1,642	4,939	27,848
セグメント利益	577	112	24	222	936

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	936
セグメント間取引消去	4
棚卸資産の調整額	9
四半期連結損益計算書の営業利益	950

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 1 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	13,760	△10.6
防災	6,546	△15.3
産業機械	1,927	+3.7
環境車輛	4,853	△5.3
合計	27,088	△10.0

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 金額は、販売価格で表示しております。  
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	36,535	△5.5	35,634	△3.2
防災	4,358	+41.5	4,310	+64.1
産業機械	2,028	△10.2	2,343	+13.3
環境車輛	5,099	△10.3	4,480	+10.4
合計	48,021	△3.4	46,768	+2.6

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 金額は、販売価格で表示しております。  
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 4 防災事業の防災機器部門は見込生産を行っているため、上記の実績には含まれておりません。

## 3 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	13,671	△10.5
防災	7,344	△2.4
産業機械	1,640	△10.6
環境車輛	4,860	△1.6
合計	27,516	△6.9

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。